

令和 7 年度 公共＋政治・経済 (02コア・01プラス)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子には問題15ページ、マークによる解答用紙~~マーク~~、記述による解答用紙~~記述~~各1枚がセットになっています。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙~~マーク~~・~~記述~~をミシン目で折ってから冊子よりていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
解答用紙~~マーク~~の受験番号欄は、右を参考に記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙~~マーク~~はすべてHBの黒鉛筆(シャープペンシル可)で記入することになっています。答えを訂正する場合は、プラスチック消しゴムでよく消して、訂正してください。プラスチック消しゴムを忘れた人には貸与します。
6. 解答用紙~~記述~~は、HB以外の黒鉛筆(シャープペンシル可)や黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
7. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
8. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
9. 複数の解答用紙がある場合、使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

例 受験番号が
0637のとき

受験番号					
	千位	百位	十位	一位	
	0	6	3	7	
0	●	○	○	○	0
1	○	○	○	○	1
2	○	○	○	○	2
3	○	○	●	○	3
4	○	○	○	○	4
5	○	○	○	○	5
6	○	●	○	○	6
7	○	○	○	●	7
8	○	○	○	○	8
9	○	○	○	○	9

2025

公共＋政治・経済

解答用紙 マーク02コア・01プラス

良い例	悪い例
●	● ○ ⊗ ①

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

I

問2

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
ア	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)
イ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)
ウ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)

問3

a	b	c	d	e
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)

問5

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

II

問2

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

問3

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

問4

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

III

問1

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

問2

a	b	c	d	e
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)

問4

	a	b	c	d	e	f
イ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
ウ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)

問5

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

問6

(1)

a	b	c	d	e	f
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)

IV

問1

	a	b	c	d	e	f
ア	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
イ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
ウ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)

問4

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

問5

a	b	c	d
(a)	(b)	(c)	(d)

受験番号

	千位	百位	十位	一位
0	(0)	(0)	(0)	(0)
1	(1)	(1)	(1)	(1)
2	(2)	(2)	(2)	(2)
3	(3)	(3)	(3)	(3)
4	(4)	(4)	(4)	(4)
5	(5)	(5)	(5)	(5)
6	(6)	(6)	(6)	(6)
7	(7)	(7)	(7)	(7)
8	(8)	(8)	(8)	(8)
9	(9)	(9)	(9)	(9)

本欄は記入しないこと。

十位	一位
(0)	(0)
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(4)	(4)
(5)	(5)
(6)	(6)
(7)	(7)
(8)	(8)
(9)	(9)

CB02P-OMR



I 問1

A (8字)B (4字)C (2字)D (2字)E (4字)

問4

F (4字)

総 点	
--------	--

II 問1

A (8字)B (3字)C (2字)D (3字)

問5

E (3字)

I 評 点	
-------------	--

II 評 点	
--------------	--

III 問3

A (2字)B (4字)

問6 (2)

C (5字)D (4字)E (4字)

III 評 点	
---------------	--

IV 問2

A (6字)B (5字)

問3

C 下 け (1字)D (2字)E (2字)F (2字)

IV 評 点	
--------------	--

問題は次のページより始まります。

I 次の文章を読んで、設問に答えなさい。なお、同一記号の空欄には、同一の語句が入る。(30点)

近年、新しい働き方が日本でも模索されている。柔軟な働き方を促進するため、特定の時間帯の中で出社時間および退社時間を選べる 制やみなし労働時間に対して賃金が支払われる 制などの導入が進んでいる。また、乳幼児の養育や介護を担いながら働き続けることを促進する や、職場での男女平等を目指した男女 均等法（ の分野における男女の均等な 及び待遇の確保等に関する法律）は、主に女性の就労^①を後押しする役割を果たしている。しかしながら、子どもを育てながら働くための保育所^②や学童保育施設の整備には課題が多く、仕事と家庭の両立は困難な場合が多い。

加えて、人手不足解消のため外国人労働者の受け入れも議論されている。日本における外国人の在留資格は にて定められているが、1990年に施行された改正法では「定住者」の在留資格が創設され、主に日系人を中心とした定住者資格を認められた者の就労活動に制限がなくなった。さらに2018年の改正により2019年には「」の在留資格が創設され、 資格を持つ外国人労働者の受け入れが始まっている。また、インドネシアやフィリピンとの経済連携協定（略称EPA）の締結により看護師・介護福祉士候補者の受け入れも開始されている。しかしながら、発展途上国への技術や知識の移転を目的とした外国人 制度は劣悪な労働環境および人権侵害も多いことから問題視されており、永住も見据えた外国人労働者の受け入れ制度が求められるなかで、異なる言語や習慣、価値観などをもつ人々との共生^③には課題も多いことが議論されている。

問1 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。ただし、 はカタカナ8字、 は漢字4字、 と はそれぞれ漢字2字、 は漢字4字である。〔解答用紙記述〕

問2 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を，以下の a ～ k のうちからそれぞれ1つ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。

〔解答用紙 〕

- a 児童手当
- b 育児・介護休業法
- c 年少扶養控除
- d 移民労働者権利条約
- e 出入国在留管理法
- f 在留外国人登録法
- g 出入国管理及び難民認定法
- h 特定技能
- i 特定活動
- j 特定技術
- k 特定介護

問3 下線部①に関連して，以下の文中の空欄 にあてはまる最も適切な数字を，以下の a ～ e のうちから1つ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 〕

女性の就労は増加傾向にあるものの，男女間の賃金格差は課題として指摘されている。『令和6年度版男女共同参画白書』によると，2022年時点の，男性フルタイム労働者の賃金の中央値を100とした場合の女性フルタイム労働者の賃金の中央値の水準は とされている。

- a 58.7
- b 68.7
- c 78.7
- d 88.7
- e 98.7

問4 下線部②に関連して、以下の文中の空欄 にあてはまる最も適切な語句を、漢字4字で解答欄に記入しなさい。〔解答用紙記述〕

保育の必要性が認定され保育所利用の申請をしながら、入所できず入所の機会を待っている状態の子どもは と呼ばれている。

問5 下線部③に関連して、ひとつの社会において異なる言語や習慣、価値観などの共存を認める考え方として最も適切なものを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕

- a 分離主義
- b 多文化主義
- c 民族主義
- d 同化主義

Ⅱ 次の文章を読んで、設問に答えなさい。なお、同一記号の空欄には、同一の語句が入る。(30点)

国際社会の平和と安全を実現することは、きわめて難しい課題である。国際連合(国連)は、国際機構によって平和と安全を維持するという国際連盟^①と同等の考えに基づき、国連憲章によって設立された。国連の原型は、1941年に発表された大西洋憲章に表れていたとされるが、国連憲章は1945年の 会議で採択された。国連には、総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所および事務局という6つの主要機関がある。このうち安全保障理事会は、5か国の常任理事国^②と10か国の非常任理事国から構成される。安全保障理事会における手続事項以外の事項(実質事項)についての決定は、すべての常任理事国を含む9理事国の賛成が必要となるため、常任理事国は を持つといわれる。常任理事国が を行使することによって、安全保障理事会が何も決定できない事態に備えて、総会は、平和のための 決議を採択した。この決議に基づき、総会は、会期中でなくとも緊急特別総会を開催することができる。

国連憲章第7章は、国際の平和および安全を維持しまたは回復するために、非軍事的措置と軍事的措置^③をとることを安全保障理事会が決定できると定める。他方で、国連の平和維持活動に関しては、国連憲章には明文の規定はないものの、総会または安全保障理事会の決議を根拠に実施されてきた。平和維持活動は、関係当事者の同意の下、停戦監視や紛争後に行われる選挙監視などを任務とするが、平和維持活動を行う国連の部隊のうち、軽武装しているものを平和維持軍(英語略称)と呼んでいる。なお平和強制(執行)部隊とは、1992年に当時の 国連事務総長が発表した「平和への議題(課題)(Agenda for Peace)」の中で提唱されたもので、平和維持軍よりも重武装であり、強制的措置をとりうるものであった。平和強制(執行)部隊による活動は、 において実施されたが失敗に終わった。

問1 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。ただし、 はカタカナ8字、 は漢字3字、 は漢字2字、 はアルファベット3字である。〔解答用紙記述〕

問2 文中の空欄 と にあてはまる最も適切な語句の組み合わせを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕

- a ア：ハマーショルド イ：国連カンボジア暫定統治機構
- b ア：ガリ イ：国連カンボジア暫定統治機構
- c ア：ハマーショルド イ：第2次国連ソマリア活動
- d ア：ガリ イ：第2次国連ソマリア活動

問3 下線部①に関連して、以下の文中の空欄 と にあてはまる最も適切な語句の組み合わせを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕

国際連盟は、アメリカの 大統領が提唱した平和原則14か条(Fourteen Points)に含まれていた国際機構設立提案が結実したものとされている。国際連盟は、総会、理事会、事務局などの機関で構成されたが、総会と理事会では の議決方式が採用された。

- a ウ：ウィルソン エ：多数決
- b ウ：チャーチル エ：多数決
- c ウ：ウィルソン エ：全会一致
- d ウ：チャーチル エ：全会一致

問4 下線部②に関連して、安全保障理事会の常任理事国である5か国の国名として最も適切な組み合わせを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 **マーク**〕

- a アメリカ、イギリス、ロシア、中国、インド
- b アメリカ、イギリス、ロシア、中国、フランス
- c アメリカ、フランス、ロシア、中国、インド
- d アメリカ、イギリス、ロシア、中国、ドイツ

問5 下線部③に関連して、以下の文中の空欄 **E** にあてはまる最も適切な語句を、漢字3字で解答欄に記入しなさい。〔解答用紙 **記述**〕

国連憲章第7章の下での軍事的措置は、安全保障理事会と加盟国との間の特別協定に従って創設される国連軍により行われることが予定されていたが、現在までのところ国連憲章に規定された形での国連軍は設置されていない。1990年代初めに発生した湾岸戦争においては、安全保障理事会の決議に基づき、国連軍ではなく **E** 軍による武力行使が行なわれた。

Ⅲ 次の文章を読んで、設問に答えなさい。なお、同一記号の空欄には、同一の語句が入る。(30点)

私たちが、日常使っている貨幣はたいへん便利な道具である。たとえば、貨幣がない場合、ある個人が、自分が持っていないけれども欲しい財を手に入れる方法として、自分が持っている財と自分が欲しい財との交換^①がある。その場合は、交換の相手が自分が欲しい財を持っており、かつ自分が持っている財を相手が欲している状況でしか交換が成立しない。ただし、自分が欲しい財を持っていると同時に、自分が持っている財を欲している相手を見つけるのはたいへん手間がかかることである。

しかし、私たちが十分な量の貨幣を保有している場合は、自分が欲しい財を持っている人を見つければ、その貨幣を使って、自分が欲しい財を手に入れることができる。これが、貨幣の交換手段としての機能^②を利用した取引である。

貨幣には現金通貨と預金通貨の2種類がある。現金通貨には政府が発行する と中央銀行が発行する紙幣^③とがある。預金通貨には、私たちが必要な時にいつでも引き出せる預金などがある。^④預金は、銀行によって、その一部が預金準備(準備預金または支払準備)として中央銀行に預けられ、残りが企業への貸し出しなどに回される。^⑤企業は、銀行から貸し出しを受けて資金を調達するだけでなく、株式や社債を発行し証券市場から資金を調達することもできる。最近では、インターネットを介して不特定多数の人から資金を集める ファンディングも増えている。

問1 下線部①で表される取引を、 交換と呼ぶ。この空欄 にあてはまる最も適切な語句を、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。[解答用紙

- a 日常
- b 迂回
- c 物々
- d 特別

問2 下線部②に関連して、貨幣の交換手段としての機能以外の機能として適切なものを、以下のa～eのうちから2つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。正答を過不足なくマークした場合に限り、得点とする。〔解答用紙 マーク〕

- a 価値貯蔵手段としての機能
- b 取引記録手段としての機能
- c 数量調整手段としての機能
- d 価値尺度としての機能
- e 価格形成手段としての機能

問3 文中の空欄 A と B にあてはまる最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。ただし、A は漢字2字、B はカタカナ4字である。〔解答用紙 記述〕

問4 下線部③に関連して、以下の文中の イ と ウ にあてはまる最も適切な語句を、以下のa～fのうちからそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 マーク〕

日本における中央銀行は、日本銀行と呼ばれ、日本で唯一、紙幣の発行が認められた イ である。日本銀行は、金融危機などの際に、民間の金融機関が貸し出しをできない場合、民間の金融機関に資金を供給する ウ の役割も果たす。

- a BIS規制
- b 発券銀行
- c 東京証券取引所
- d 投資銀行
- e 税務署
- f 最後の貸し手

問5 下線部④に関連して、預金通貨に該当する金融資産として最も適切なものを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

〔解答用紙 ☐ マーク〕

- a 普通預金
- b 特別引き出し権 (SDR)
- c 電子マネー
- d 日銀当座預金

問6 下線部⑤に関連して、以下の2つの設問に答えなさい。

- (1) 以下の文中の空欄 にあてはまる最も適切な数字を、以下のa～fのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 ☐ マーク〕

いま銀行が800億円の預金を保有しており、そのうちの40億円を中央銀行に預けているとすると、預金準備率は %である。

- a 1
- b 2
- c 3
- d 4
- e 5
- f 6

- (2) 以下の文中の ～ にあてはまる最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。ただし、 は漢字5字、 はカタカナ4字、 は算用数字4字である。〔解答用紙記述〕

バブルの崩壊に伴って1990年代から金融機関の不良債権が問題となったため、政府は1996年に金融機関がおさめていた をもとに、預金の一定額だけを保証する をいったん凍結した。この は、不良債権処理が一段落した 年に全面解禁された。

Ⅳ 次の教師と生徒との会話文を読んで、設問に答えなさい。なお、同一記号の空欄には、同一の語句が入る。(30点)

教師： 本日は、企業の規模やタイプに着目して、日本経済の歴史と現状について考えてみましょう。あなたたちは、「日本経済の二重構造」という経済用語を、聞いたことがありますか？^①

生徒A： はい、くわしくは知りませんが、大企業と中小企業との関係についての用語だったと思います。大企業に対して、中小企業の方が、企業数において圧倒的に多い、というような・・・。

生徒B： 単に、企業数の問題だけでなく、大企業と中小企業との間に、労働生産性や収益性、従業員の などの面で格差が存在する、という構造的な問題であったように記憶しています。

教師： そうですね。2024年版の『中小企業白書』によれば、現在でも、わが国の中小企業は、企業数で全体の約99.7%、従業員数でも全体の約70%を占めていますが、 では全体の約56%にとどまり、生産性などの面で、大企業との間で格差が存在しています。

生徒A： ほとんどの企業は中小企業であり、大多数の人は中小企業で働いている、ということですね。しかし、生産性や などの面では、大企業に比べて中小企業の方が低いと。

生徒B： 確かに、「二重構造」というイメージですね。ところで、中小企業は、どのように定義されているのでしょうか？^②

教師： 1963年に制定された 法という法律があり、その第2条第1項に基づき、現在、中小企業は表1のように定義されています。

生徒A： 資本金額と従業員数に基づき、業種別に定義されているのですね。また、特に従業員数の少ない企業を小規模事業者としていますね。

教師： 1963年の制定時、 法の目的は、大企業と中小企業との間の格差是正に主眼が置かれており、そのための取引条件の向上や投資の促進が目指されていました。

生徒B： 1960年代というと、日本経済は高度成長期に入っていますが、格差は解消

されなかったのでしょうか？

教師： 高度成長期に入ると、技術革新により生産性の格差が、労働力不足により
ア の格差が縮小する傾向が見られました。しかし、1970年代に入
ると日本経済はオイル・ショックに見舞われ、また、1980年代半ばから急
速に円高が進むなど、中小企業を取り巻く環境が大きく変化したため、根
本的な格差の解消には至りませんでした。

生徒A： いまだに、規模の面だけに着目すると、「二重構造」は残っている、とい
うことですね。

教師： 一方で、この間、規模的には中小企業でも、製品開発やマーケティングの
面で独創性を持つ中堅企業や旺盛な起業家精神をもって未開拓な領域を切
り開く B 企業といった新たなタイプの企業が登場してきました。
こうした変化なども踏まえて、政府は1999年に A 法を改正し、政
策転換を図りました。

生徒B： どのような政策の転換だったのでしょうか？

教師： 旧法では、「二重構造」の存在を前提とした「格差の是正」が主たる政策
目標でした。これに対して、新法では、多様で活力ある中小企業こそが、
わが国経済の活力の源泉であるという新たな理念を掲げ、中小企業の自助
努力を正面から支援する方向へと、転換が図られました。

生徒A： 大きな方向転換でしたね。

教師： 従来の方向性は、ウ ・メリットの追究という、ある意味で、「脱」
中小企業的な考え方でしたが、これに対して、経営革新や創業、創造的事
業活動の促進に力点が置かれるようになりました。^③

生徒B： 新しい技術や知識で創造的事業活動を展開する企業ということであれば、
先ほどの B 企業などは、それに該当しますね。

教師： その後、政府は、中小企業の中でも、特に小規模事業者の持続的発展を基
本原則として位置づけ、地域経済の安定や発展と結びつけた施策の必要性
を強調するようになっていきます。

生徒A： 企業の圧倒的大多数は中小企業であり、また、その大半は小規模事業者
で、その事業活動は地域に根差していることを考えれば、当然のことです

よね。

教師： 本日は、これで終わることにします。

生徒A, B：ありがとうございました。

表1 中小企業の定義

	中小企業		うち小規模事業者
業種	資本金 または 従業員		従業員
製造業, その他	エ 億円以下	300人以下	20人以下
卸売業	1 億円以下	100人以下	5 人以下
サービス業	5,000万円以下	カ 人以下	5 人以下
小売業	オ 万円以下	50人以下	5 人以下

(出典) 中小企業庁『2024年版中小企業白書』

問1 文中の空欄 ア ～ ウ にあてはまる最も適切な語句を、以下の
a～fのうちからそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

〔解答用紙 マーク〕

- a 資金
- b 賃金
- c 投資額
- d 付加価値額
- e スモール
- f スケール

問2 文中の空欄 A と B にあてはまる最も適切な語句を、解答欄
に記入しなさい。ただし、 A は漢字6字、 B はカタカナ5字
である。〔解答用紙 記述〕

問3 下線部①に関連して、以下の文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。ただし、 は漢字1字、 ～ はそれぞれ漢字2字である。〔解答用紙記述〕

大企業との関係において、中小企業は、その下 けとなって継続的に取引する場合が多い。また、株式保有、融資、技術指導、役員派遣などによって 化される場合もある。しかし、中小企業は、特に不況期には生産 の手段として利用されることもあり、「景気の 弁」とも呼ばれてきた。

一方、ある特定の地域で、その地域の特性や伝統を生かした特産品を生産・販売する地域密着型の中小企業も多い。こうした地元生まれの中小企業によって成り立っている伝統産業は、 産業とも呼ばれている。京都西陣の絹織物、輪島、会津の漆器、瀬戸、有田の陶磁器などが、その例である。

問4 下線部②に関連して、表1中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句の組み合わせを、以下のa～dのうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕

- | | | | |
|---|------|---------|-------|
| a | エ：10 | オ：5,000 | カ：100 |
| b | エ：5 | オ：5,000 | カ：100 |
| c | エ：3 | オ：5,000 | カ：100 |
| d | エ：3 | オ：1,000 | カ：50 |

問5 下線部③に関連して、以下の文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句の組み合わせを、以下の a～d のうちから1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 〕

創造的事業に取り組むにあたっては、既存の企業が見落としていたり、あるいは、大企業が進出するには規模の小さな （すきま）市場に着目する場合がある。また、近年では、さまざまな社会的問題に取り組む社会的企業も増えており、中でも、地域問題に取り組む ・ビジネスの台頭も著しい。創造的事業に取り組む企業が資金調達をする場として、 株式市場なども開設されている。

- | | | | |
|---|-------|----------|------|
| a | キ：ヘッジ | ク：リージョナル | ケ：成長 |
| b | キ：ヘッジ | ク：コミュニティ | ケ：新興 |
| c | キ：ニッチ | ク：リージョナル | ケ：成長 |
| d | キ：ニッチ | ク：コミュニティ | ケ：新興 |